

白山愛児園 わかば 第9号

発行
社会福祉法人川崎愛児園
児童養護施設白山愛児園
発行月 令和8年2月
住所
〒215-0014
神奈川県川崎市麻生区
白山1丁目1番5号
TEL:044(712)4071
FAX:044(712)4074
hakusan@aijien.or.jp

法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切に、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

- 一 「命を大切にすること」
- 一 「地域の中で養育と子育て支援」
- 一 「健全な経営」

施設の基本方針

児童一人ひとりが命を大切にすることをもち、心身共に健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かして地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

養護目標

社会的養護を必要とする人所児童に対しての基本目標は次の通りです。

- (1) あいさつの正しくできる人に
- (2) 健康な体と心をもてる人に
- (3) 人に好かれ、社会に役立つ人に
- (4) 感謝の気持ちをもてる人に
- (5) 人との調和がとれる人に
- (6) 思いやりのある人に
- (7) 基本的な生活や自立した生活ができる人に

理事長

白戸 隆

地域福祉の核心へ

～家庭支援拠点の始動にあたって～

日頃より、当法人の運営について深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは、命の尊さを大切に、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めること、また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」質の高い養育及び子育て支援を行うことを基本理念として掲げております。

近年の入所状況から高齢児の入所や様々な特性から個々の支援の在り方を

考察し実践に努めております。またそこから見えてくるものは、入所以前からの支援がまだまだ必要であるということとです。予防的支援、退所後に向けた支援が一環していることが重要ということとを再認識し具体的な取り組みに向けているところです。

その核として宮前平駅前家庭支援拠点を開設いたしました。施設入所に至る前の予防的支援・入所後の家庭支援・退所後を見据えた支援に關して総合的に対応することを目的にしております。児童家庭支援センターとの連携や障害分野・高齢分野を包括した総合支援拠点になります。法人独自の取り組みになります。現在、各福祉分野の方々との事例研究を行い、それぞれの取り組みと課題点を共有し如何に子ども家庭を支えていけるかを検討しております。他分野を知り、新たなサービスを創りだす、充実させることも必要になると思っております。各種の取り組みを通して誰かと誰かが繋がりながら安心して生活できることを目指します。

今後とも、みな様のご理解とご指導をいただきながら前進して参りたいと思っております、どうぞよろしくお願い申し上げます。

施設長

霜倉 博文

二〇二五年四月、白山愛児園として初めての分園型ホームを開設しました。地域小規模児童養護施設を含めて、三番目のホームとなります。より地域社会と密接な環境の中で、安心して生活できる居住空間を提供したいと願っています。

分園型ホームということで、白山愛児園のユニット一つが空きスペースとなります。空いたユニットを活用して高機能化・多機能化に取り組んでいきます。ショートステイ・デイステイの利用が増加している状況であり、個別対応が必要な利用児童が落ち着いて過ごせるスペースとして活用していきます。一時保護委託の利用も考えられます。また、家庭復帰を目指す入所児童と保護者が宿泊する場として活用していきます。

法人の基本理念のひとつに「地域

の中での養育と子育て支援」が掲げられていきます。白山愛児園開設以来、子どもたち、職員共に地域活動には積極的に参加してきました。今年度は、

職員も地域の方からの応援が励みになっていきます。改めて感謝いたします。

例年以上に地域のお祭りに出店し、夏休みは、忙しい日々を過ごしました。

今後ともなお一層のご支援とご協力をお願いいたします。

お陰様で、地域の方々から子どもたちのことを気にかけてくださる場面も増えてきています。先日、園近くのバス停付近で花壇の整備をしていらっしゃる近隣住民の方が、子どもたちの成長を願って新しい苗を植えてくれました。とても嬉しかったです。ありがとうございました。

地域への子育て支援に関しては、併

設しているはくさん児童家庭支援センターを中心として取り組んでいます。

白山愛児園の開所と共に入職し、今年度で12年目となりました。

子育て相談も増えてきており、ショートステイ・デイステイの利用調整も大変な状況になっています。特に障がいがあるお子さんを子育て中の保護者の育兒負担感が強くなってきています。障がい児のショート利用の受け皿を増やしていくことが地域課題となっています。

ます。令和八年度は、児童家庭支援センターの相談員を一名増員し、地域支援に貢献していきます。

愛児園の子どもたちは地域の皆さんに気にかけていただきながら、多くの体験をして成長してきています。また、

デイステイ
ショートステイ
ユニット主任



加奈 荘司

1年目から5年目までは入所の女子ユニットを担当。上司や先輩職員からの指導、同期と切磋琢磨し、何よりも子どもたちとの楽しい日々から様々なことを学び、一職員としてのみではなく人として成長した5年目でした。

6年目、デイ・ショートステイ事業(様々な理由で一時的に家庭での養育が困難になった場合に一定期間

お子さんをお預かりする事業)を専任するユニットが設置され、リーダーとして異動となりました。これまで

の経験や知識を活かしつつ、どうすれば地域の子育て支援により携わっていけるか、沢山悩みました。開所して6年目ということもあり、事業自体がまだあまり知られておらず、利用者も現在に比べるとかなり少ない日々が続きました。児童家庭支援センターと協働しながら、チームの職員と支え合い、

で成長し続けると言われているサメがいます。これから迎える13年目、14年目、さらにその先。私も日進月歩で成長し続けていきたいと思えます。

気が付けば12年目。入所ユニットを担当していた5年を超え、デイ・ショートステイユニットで7年が経過しようとしています。利用者は曜日によれば定員に達する事が殆どで、中には利用した方からの紹介で問い合わせてくれる方もいます。一定期間お子さんをお預かりする中で安心安全に楽しい時間を過ごせるよう、6年前には思いつけずにあったアイデアが沢山浮かび上がり、実践しています。送迎時に保護者の方とお子さんについて話す時間、時には相談も受け、自身の経験から少しでも力になれるようお答えできると、そして何よりも子どもたちと沢山遊び、沢山笑い合うこと。そんな毎日が楽しくて仕方がないです。

白山愛児園と共に歩んだ12年の中で培ったものが、今の自分を支えているだけではなく、地域に良い影響を与えられていたら、幸いです。ミニオンデンザメ、という死ぬま

分園型ホーム
『いろは』
ホーム長



香織 中島

白山愛児園が開所して12年目。開所当初から働いている私も入職して12年目となりました。当初は殆ど現場職員が同期でしたが、毎年入退職があり、今では後輩職員が十数人もいる指導する側の職員となりました。一回り近く歳の離れた新任職員が入職してきた時は「とうとうここまで来たか…」と時の流れを感じました。同時に、小さい頃から見てきた子どもたちが中学生、高校生となり、年下の子どもや職員のお手伝いをしてくれる姿や、「自分も小さい時こんなことしたな」「こんなこともあったよね」と話す姿を見て、成長を感じて嬉しくなることもあり、社会に出ても他者と良好な関係を

築いていけたらいいな、と思います。
今年度より、11年間過ごした本園から離れ、地域にある一軒家をお借りして開設しました、分園型小規模グループケア『いろは』に異動することになりました。慣れ親しんだ職場から離れる寂しさはありましたが、新しい場所で一から作り上げるという期待感に満ち溢れています。

地域の一軒家で生活する為、今まで以上に地域の方々との関わりが密になってくるかと思えます。白山愛児園のことを知って貰い、より良い関係を築いていきたいと思っております。

地域の方にはいつも助けて頂いており、子どもが近所のスーパーへお遣いに行った際に金額が分からなくなり支払いを手伝って貰ったり、学校からの帰り道で子どもが転んでしまった際に手を差し伸べて貰ったり。この地域に来ることができ、とても嬉しく思っています。私たちも地域の一員として、地域活動に積極的に参加し、少しでも貢献していきたいです。

そして、子どもたちが思いやりの気持ちを持って、自分らしく伸び伸びと生活できる、笑顔溢れるホームにしていきたいと思えます。

そして、子どもたちが思いやりの気持ちを持って、自分らしく伸び伸びと生活できる、笑顔溢れるホームにしていきたいと思えます。

地域のお声

白山まちづくり協議会
事務局・広報 担当



吉松 秀一様

白山まちづくり協議会の事務局・広報を担当して

二〇〇六年に、白山小・中学校を隣の王禅寺小・中学校に統合するという方針が出されました。グリーンタウンに住んでいる者にとっては、長く親しんでいた小・中学校が統合されてしまった後、残った校舎やグラウンドは一体どうなってしまうのだろうかという

のが率直な不安でした。グリーンタウン在住の有志が集まって、学校跡地利用のことを考えようと動き始めたのが、現在の白山まちづくり協議会活動の原点です。

その頃ポプラ街区の自治会役員をやっていた関係で、私もその活動に加わりました。その後、数多くの話し合いや調整を経て、跡地には日本映画大学、特別養護老人ホーム、そして児童養護施設「白山愛児園」が設立されました。今では、施設に係る人たちが地域に溶け込んで、グリーンタウンにとって無くてはならない存在になっています。愛児園の皆さまは、地域のイベントに参加し、お祭を手伝ってくださり、心から感謝いたします。

さて、活動開始から二〇年近くが経ちました。私が携わってきたことを少しお話します。

当することになりました。務めていた会社の広報担当から、付け焼刃的に広報紙作成の手ほどきを受けました。それ以来、今日まで広報紙を作り続けています。事情があつて、白山まちづくり協議会を任意団体から一般社団法人に

しなければならなくなりました。見よう見まねで定款を作り、公証役場で承認をとり、法務局に届け出て法人格の組織にしました。思いがけない体験が出来て良かったと思っております。

私たちは収益事業をしている訳ではありませんので、税金は払わなくても済みます。ただ、社団法人として減免手続きだけはしなければなりません。毎年、税務署に書類提出を行いました。

考えてみれば、会社勤めの合間を縫って色々なことをやりました。今では、かけがえのない体験ができたと思っております。

実は、事情があつて十年近く前からグリーンタウンには住んでいません。しかし、相変わらずまちづくりの活動に参加しています。

我ながらあきれいています。縁あつて取り組んだまちづくりですから、もうしばらく頑張ろうかなと思っております。

ホーム紹介

201 (男子ユニット)



幼児〜小学生の男子ユニットです。園庭やバスケットコート、近隣の公園など、晴れた日には積極的に外で身体を動かして楽しんでいきます。最近ではユニット内でもけん玉が流行しており、職員も交えてにぎやかに練習しています。喧嘩をすることもありますが、年齢の垣根を越えて仲良く過ごしています。

これからもみんな笑顔で、力を合わせて生活できる場所をつくっていききたいです。

202 (男子ユニット)



年中〜高校1年生の男子ユニットです。年齢は離れていますが、晴れている日には、体を動かす遊びや、虫取りや魚の観察等自然と触れ合う遊びをしています。遊びや行事に全力で取り組み楽しむことが出来、様々なことを経験しながら、笑顔の絶えない賑やかな毎日過ごしています。地域行事に積極的に参加し、様々な人と関わる中で、人とのつながりを大切に出来るような人になってほしいと考えています。互いの良いところを見つけて合い、尊重し合えるユニットを目指していきます。

301 (女子ユニット)



幼児さんから中学生まで、みんな仲良く暮らしている女の子たちのユニットです。ごはんの準備やお掃除など、いつも進んでお手伝いをしてくれる優しい子どもたちです。

外ではボール遊びや鬼ごっこで元気に走り回っています。好きなアイドルの話をしたりダンスを真似して踊ったり、毎日賑やかで笑顔あふれる毎日過ごしています。

302 (女子ユニット)



小学生から中学生までが生活している女の子たちのユニットです。

外で元気に活動する時もあるけれど、絵をかいったり料理を作ったり、本を読んだり、それぞれが得意なことを生かしてのんびりと過ごすこともあります。

これからも、賑やかで笑顔があふれる毎日過ごすことが出来るよう、互いに思いやりをもって行動できるユニットを目指していきます。

ユニット

小学生～大学生の女の子のホームです。令和7年度から地域の一軒家で生活しています。小学生は外で元氣よく遊んだり、中学生は部活動を頑張ったり。それぞれの時間を大切に過ごしながらも、皆が揃うととても賑やかで和氣あいあいと楽しい女の子たちです。お菓子作りや料理などを楽しみながら積極的にお手伝いしてくれることもあります。相手の気持ちを考えてくれる、思いやりのあるホームを目指しています。



いろは（分園型ホーム※）

※分園型小規模グループケア

保護者の方の疾病や育児疲れ、出張、入院、出産、介護などの理由で一時的にご家庭での養育が困難になった場合に、一定期間お子さんをお預かりする事業を担当するユニットです。2歳から小学6年生を対象に、シヨートステイ（宿泊預かり）・デイスステイ（日中預かり）を実施しています。また、里親支援の一環として、里親家庭の2歳から18歳のお子さんをお預かりする事業も担当しています。元氣いっぱいな職員が、お預かりするお子さんと一緒に沢山遊び、毎日笑顔の絶えないユニットです。



203（シヨートステイ）

幼児～高校生の女の子と男の子が生活するホームです。子どもたちが好きなことは、砂場遊びをすること、ゲームをすること、映画を観ること、音楽を聴くこと、歌うこと、泳ぐこと、ご飯を食べること、スイーツを作ること等々：好きなことが沢山の、笑い声にあふれたにぎやかなホームです！近くの公園で月に1回行われる緑地活動に参加しています。地域の方々に見守っていただきながら、子どもたちが成長していることを感じます。

結（地域小規模児童養護施設）



紬（地域小規模児童養護施設）



小学生～高校生の男女が生活する、開所5年目のホームです。地域のイベントや公園掃除等、様々な活動に参加させていただき、地域の皆様に見守られながら成長しています。子ども達は学校から帰ってくると友人と公園で遊んだり、年齢の高い児童は部活動や塾、アルバイトに取り組み等それぞれが充実した時間を過ごしています。ホッとできて、帰りたいと思えるようなあたたかいホームを作っていきたいと思っています。

7月七夕



今年は素敵な短冊も…☆



毎年、AGS47の皆さまから笹をいただき、短冊に願いを込めて飾っています。素敵な短冊もいただき賑やかな笹飾りになりました…☆

新任職員を迎えての初行事。チームとしての絆を深め、新たなスタートを切るための大切な一日です。



4月 お花見



8月 ソフトボール大会



伝統の野球・ソフトボール大会。今年も多くの児童と職員が汗を流しました。スポーツを通じた交流は、子どもたちの社会性と豊かな人間関係を育む貴重な機会となっています。

の行事

8月 野球大会



ガンバレー!

県内約30施設から選手が集まり、今年も大盛況となった卓球大会。子どもも大人も本気で向き合う試合を通じて、日頃の関わりがさらに深まる、爽り多き時間となりました。

7月 卓球大会



8月 水泳大会



スポーツを通じて県内施設の輪が広がる伝統行事。横浜国際プールにて自己ベストに挑戦！声援が力になり、共に泳ぎ切った仲間との絆がさらに深まりました。

8月 キャンプ



今年度も施設全体でキャンプに行ってきました。今年は山梨の西湖へ。晴天の中、水遊びやバーベキュー、スイカ割りなど楽しい時間を過ごしました。

川崎純情小町★



イチノイー



HEAT-UP フロレス



未来太鼓道場

10月 白山愛児園まつり



一大イベントである「白山愛児園まつり」が今年も開催されました。当日はあいにくの天候となりましたが、約450名もの方々にご来場いただき、会場は終始大きな熱気に包まれました。出演者を含む総勢120名のボランティアの皆様のご協力のもと、雨風を吹き飛ばすような一体感をもって、無事に終えることができました。

一年間

11月 駅伝大会



県施設駅伝大会では小学生から高校生までの子どもたちが、たすきを繋いで駆け抜けました。中には区間第一位の快走を見せた子どもおり、日頃の走り込みが実を結んだ大会となりました。

12月 クリスマス会



※集合写真は2024年のものです

今年も日頃からあたたかいご支援をいただいている地域の皆様やご寄付者様、ボランティアの方々、学校の先生等をお迎えし交流を楽しみました。皆様からの手拍子や歓声が、クリスマス会を一層盛り上げてくれました。

1月 餅つき大会



けやき自治会さんやアカシア自治会さんから、杵・臼・蒸籠等の道具をお借りして、新年の餅つき大会を開催しています。未経験で始めたこの行事も、地域の皆様のご指導をいただきながら、今年で6回目になりました。

1月 送別マラソン

春に施設を出て社会へ出る子どもたちへのエールを込めて開催される歴史ある大会です。白山愛児園も約20名の子どもや職員が、熱いレースを繰り広げました。



3月 卒業と進級を祝う会

卒業・進級する子どもたちをみんなで祝います。各お部屋ごとにそれぞれが考えたとおきの料理を振る舞い、みんなで和気あいあいと食事をしながら、1年間の成長を喜び合います。



2月 節分



職員が鬼になり、各お部屋やホームをまわります。今年もカジノヤさんからいただいた大豆を活用させていただき豆まき！子どもたちの元気な声が響き渡りました。

新任職員のごあいさつ

子どもたちが安心して生活できる環境を提供し、子どもたちが明るい未来に向かって自分自身の人生を歩むことができるようにサポートしていきます。

今後はこどもの支援に関する専門知識をさらに深め、個々のニーズに応じた対応力を高めていきたいと考えています。これまでの経験を活かしつつ、自己成長を図ってまいります。

実際に働いてみて、大変なことも多くありますが子どもたちと様々な行事に参加したり、穏やかな時間を過ごすことができ、とても楽しい仕事だと思っています。また、子どもの成長を実感することができ、とてもやりがいを感じています。

ホームに勤務している保育士です。私がこの仕事に就いた理由は、私には7つ下の妹がいるのですが幼少期の頃に妹の世話をする機会が多くありました。それがとても楽しく、子どもと関わる仕事がしたいと思うようになりました。大学の時には川崎愛児園で保育実習を行い、その際に職員の方々から子どもたちに向き合う姿を見て、私もそのような職員を目指したいと思ったこともここで働くきっかけになりました。

Naqisa Iida



飯田 凜紗

将来は子どもにとって「親でもない、先生でもない、友だちでもない、けど近くにいる大人」になりたいと思ったことが心理の道に進み、児童家庭支援センター（児家セン）で働くきっかけでした。

私は小学生のころから素敵な担任の先生たちに恵まれ、学校が大好きな子どもでした。しかし教師になる選択肢が自分の中に生まれなかったのは、小さなころから人前に立ち導くタイプではなかったことが大きな理由だと思います。小学生のころはクラスの子の前で自己紹介をするだけで恥ずかしくて泣いてしまい、中学生で集団をまとめるときにも副リーダーや副部長などになることが多く、自ら先導はせず、なんとなく集団の一番後ろから、ゆっくり着いていくことが多かったように感じます。そんな内弁慶な性格でも人と関わることで、子どもと関わることは昔から大好きで、大学では文頭に書いたような「身近な大人」になりました。心理学を専攻に選びました。大学で指導くださった先生が児家センの研究をされており、児家センの存在を知りました。0歳〜18歳までの幅広い年代のお子さんと長く関わることでできる点に強く惹かれ、いつか児家センで働きたいと思っていた矢先にご縁があり、はくさん児童家庭支援センターで働かせていただいています。実際に入職し、想像以上の忙しさに圧

Marina Koie



鯉江 満里奈

倒される時もありますが、出会った当初は首も座っていないかかった子がハイハイや単語を話し始めたり、学校での忘れ物や家での癩癩がちよつと減ったり、声変わりをしたりなど、お子さんたちのさまざまな成長を身近で感じることができる素敵な日々を過ごしています。一方心理士としても支援者としてもまだまだ半人前で、実力不足も痛感する日々ですが、「親でもない、先生でもない、友だちでもない、けど近くにいる大人」になれるよう、日々精進してまいります。

Ren Saito



齋藤 廉

私は子どもたちの生活を支える職員ではなく、「学習支援員」という子どもたちの学習を支える立場として勤務しています。1回30分を目安に年長さんから中学生の子どもを主な対象として、1対1での個別学習を実施しています。

私事になりますが、大学時代心理学を専攻しており、白山愛児園で施設実習を行いました。そのご縁もあり、現在職員として勤務しています。先述した通り心理学専攻であるため、教育系の知識はもちろん教員免許もなく、子どもに勉強を教えた経験もありませんでしたが、先輩の学習支援員や他の専門職、ユニットの職員などから、日々学ぶ中でなんとかここまで続けることが出来ています。

習した上で子どもたちの個別学習に臨んでいるつもりですが、勉強に対して苦手意識がある児童も多いため、予定通りに進まないことも少なくありません。今となっては学習を教える立場の私も子ども時代は、遊ぶことが最優先、勉強は二の次という毎日を送ってきたため、子どもたちの学習に対する気持ちは心の底から理解できます。しかし私自身が大人になるにつれ、勉強することの重要性を実感してきました。そして勉強することが、子ども一人一人の将来にとって必要となってくることに変わりないと私は思います。

だからこそ、子どもごとに得意不得意、生まれ持った特性に沿った学習内容や方法、説明の仕方を考えて、少しでも勉強が楽しいと感じることが出来るような、そして喜びを感じてもらえるような支援を心掛けています。そうは言いながらも、実際は上手く伝わらないことが多い、頭を悩ませる毎日です。そのような中でも勉強でわからない問題にぶつかった時、自分なりに考えた表現や言葉を通して、子どもが「わかった!」と実感する場面や、笑顔になる様子、自信を持つ姿を見ると、私自身も元気をもらい、それが、これからの子どもたちと一緒に頑張ろうという原動力になっています。

学習という、子どもが苦手意識をもつ領域を教えることの難しさを感じながらも、時折見せる子ども独自の考えや表現、素直さ、子どもらしさがとても面白く、この難しさをどこか楽しんでる自分、かいます。

個別学習をする中で自分の伝え方、説明が正しかったのか、逡巡する日々ですが、今後は学習支援や日々児童と接する中で自分なりの道を組み立てていきたいと思っています。

紹介者・招待者・ボランティア

※順不同
※2025年2月～
2026年1月まで

- 片山 光晴様
- 加藤 貴英様
- 大山 正子様
- 宇井 令子様
- 林翔一朗様
- 竹沢 幸江様
- 小林 末廣様
- 小林 政高様
- 中村 徹平様
- 小平 裕之様
- 荒牧 正二様
- マサアキおじさん
- Y・N様
- 吉田 淑惠様
- かのん様
- 渡辺 涼音様
- 瀬川 健太様
- kouichi様
- 上石 満様
- 八木橋 優子様
- 田上 直子様
- 丹下 勉様
- 脇坂 邦彦様
- 富永 淳一様
- 吉田 淑惠様
- 鍋嶋 弘子様
- 黒田 悠様
- 石黒 英世様
- 草刈 恵子様
- 森田 古都里様
- 菊地 武成様
- 鈴木 美香子様
- 門平 きょう子様
- 長岩 慶樹様
- 望月 美寛様
- 竹田 光江様
- 安田 寿美子様
- 外山 美雪様
- 樋口 誠様
- 伊東 紘様
- 富士本 実様
- 吉元 進様
- 吉松 秀一様
- 関野 邦章様
- 我妻 昌幸様
- 田中 秀樹様
- 伊藤 雅子様
- 横田 耕治様
- 江崎 龍二様
- 石坂 佳子様
- 澤田 啓子様
- 堤 淑晃様
- 竹内 一仁様
- 庄本 直子様
- 田中 宣明様
- 中野 浩靖様
- 細谷 淳子様
- 古林 美和様
- 松崎 浩介様
- 松崎 納雅子様
- 佐々木 哲雄様
- 川本 勝様
- 只野 琴子様
- 古賀 茂明様
- 古賀 祐子様
- 小川 育子様
- 山縣 淳様
- 井口 幸洋様
- 川俣 尚彦様
- ブラッドラクマール様
- 木村 美弥子様
- 水上 千春様
- 遠藤 祐子様
- 泉 昌代様
- 小又 幸様
- 加藤 康夫様
- 佐藤 亜紀様
- 野坂 悦子様
- 濱島 尚人様
- 津田 ゆず香様
- 穴吹 尚代様

- 白山まちづくり協議会様
- AGS(アカシアグリーンサポート) 47様
- けやき自治会様
- アカシア自治会様
- ポプラ自治会様
- さつき第一管理組合様
- 東百合丘町会様
- 新百合ヶ丘自治会様
- 川崎市立王禅寺中央小学校様
- 川崎市立王禅寺中央中学校様
- 川崎市立千代ヶ丘小学校様
- 川崎市長様
- 日本国際児童図書評議会
希望プロジェクト(JBBY) 様
- 株式会社 カジノヤ様
- 横浜銀行様
- 一般社団法人 初代タイガーマスク後援会様
- 梵天様
- 刀千舎様
- INASE 様
- ベビーキルトかわさき様
- 日本鯉のぼり協会様
- 公益財団法人 那須記念財団様
- トレカで子どもを笑顔にする会様
- 株式会社 セント様
- 株式会社 あかもと本舗様
- ファミリーマート王禅寺西店様
- 関東アイスクリーム協会様
- アンティーク彦根様
- 川崎市社会福祉協議会様
- 一般社団法人 諸磯ヨットオーナーズクラブ様
- 神奈川県遊技場協同組合様
- モルモリオ・テラクア様
- 神奈川福祉事業会様
- 株式会社 MOTTERU 様
- 西湖・湖畔キャンプ場様
- 宇賀梨園様
- 株式会社 ヴァーチュアスサークル様
- PEACE BALERS 様
- 株式会社 王将フードサービス様
- 神奈川県 養豚協会様
- 株式会社 フレーベル館様

- プルデンシャル生命保険 株式会社
- エバラ食品工業 株式会社様
- 新百合ヶ丘商店会様
- 株式会社 ロンサル・P・L 様
- 新ゆりぐりーんプラザ商店会様
- 社会福祉法人 春日会様
- 株式会社 ファーストリテイリング
サステナビリティ部様
- 麻生区商店街連合会様
- 株式会社 泉屋東京店様
- 日本出版販売 株式会社様
- 明治ホールディングス株式会社 株主の皆様
- 公益財団法人 日本YMCA同盟様
- 日本鏡餅組合様
- ほっともつと様
- NPO connect 様
- 公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団様
- 神奈川トヨタ自動車株式会社様
- 株式会社 SL Creations 様
- 特別養護老人ホーム ラスール麻生様
- 株式会社 カーフスジャパン様
- 一般社団法人 こども・笑顔創出プロジェクト様
- 株式会社 アウトナンバー様
- CONNECTY 様
- 日本航空 株式会社様
- 東京ガスネットワーク 株式会社様
- 公益財団法人 オリックス宮内財団様
- 公益財団法人 報知社会福祉事業団様
- 一般財団法人 みらいこども財団様
- プロレスリング・ヒートアップ 株式会社様
- 横浜幸銀信用組合様
- 公益財団法人 日本財団様
- 一般社団法人 日本未来スポーツ振興協会様
- 特別養護老人ホーム等々力様
- 川崎フロンターレ様

このほか、匿名でも多くのご寄付を頂戴いたしました。
日頃よりご支援、ご協力いただきましたこと誠にありがとうございます。



事・活動

10月
ポプラ祭り

自治会創設40周年の節目を迎え、盛大に開催されたポプラ祭り。白山愛児園からは、今年初めて「的入れ」の模擬店を出店。広場を走るミニSLからは子どもたちの楽しそうな笑い声が響き、会場は40周年をお祝いの活気に包まれていました。地域の方々と共に笑顔あふれる特別な一日を過ごすことができました。



11月
新ゆりグリーンタウン
駅伝大会

走友会や学校など参加し多世代がタスキをつなぐ駅伝大会。今年は悪天候のため中止となりましたが、幼児から大人までが気軽に参加でき、地域の和を深める貴重な機会です。来年こそは晴天の中、皆さんと力いっぱい駆け抜けられることを楽しみにしています。



1月
さつき第一餅つき大会



毎年楽しみにしている美味しいお餅と焼き芋ですが、今年は作り手・搗き手としてお手伝いしました。子どもたちからは「柔らかくて美味しい！」と絶賛の声があがるほどです。地域の伝統の味に負けないよう、私たちがさらに腕を磨いていきたいと思います！



3月
新ゆりグリーンタウン
親睦ソフトボール大会

地域のチームや学校が集まる恒例のソフトボール大会に、今年も白山愛児園から2チーム、同法人の川崎愛児園からも1チームが参加させていただきました。

あいにくの空模様となりましたが、白山愛児園大人チームが昨年に続く2年連続優勝！恒例の豚汁の炊き出しも喜んでいただくことができました。



3月
けやき祭り

ぽかぽか陽気の中、けやき街区でお祭りが開催され、会場には焼き鳥やお餅等の美味しい模擬店が並びました。手作り楽器による演奏や、住民の方々による本格的な『どじょうすくい』等、個性豊かな催しに会場は大盛り上がり！白山愛児園の子どもたちも、手形アート等、わくわくする体験コーナーに目を輝かせ、夢中で楽しんでいました。



地域の行

4～5月
たけのご掘り

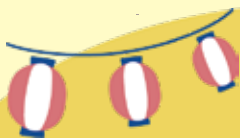


今年も春の恒例行事であるタケノコ掘りにご招待いただきました。土の感触を楽しみながら夢中でタケノコを探し、収穫の喜びと旬の美味しさを堪能しました。自然を全身で感じながら元気いっぱい遊び回り、わくわくが詰まった1日でした。



7月
グリーンプラザ夜市

恒例の夜市に今年、初出店！ヨーヨー釣りを通じて、地域の皆様や商店街の方々と笑顔で触れ合う貴重な機会となりました。美味しい屋台や楽しいゲームが並ぶ活気あふれる会場で、私たちが地域の一員としてお祭りを存分に満喫することができました。



7月
アカシア夏まつり

出店させていただくようになって3回目のアカシア夏祭り。定番のヨーヨー釣りと新企画の的入れ、2つの模擬店で参加しました。ステージではコーラスやフラダンス等が披露され大盛り上がり！多才な催し物と共に、地域の皆様との楽しい交流のひとつを過ごすことができました。



7月
東百合丘
納涼盆踊り大会



紬（ホーム）がある東百合丘町会の一大イベント納涼盆踊り大会が今年も開催。老若男女が輪になって踊り、会場は熱気に包まれました。今年は焼き鳥とわたあめを出店。多くの方に喜んでいただき、地域の絆が深まる夏のひとときとなりました。



8月

白山納涼祭

白山の恒例、白山納涼祭。2日間、地域の方々やたくさんの団体と一緒に、会場は最高に盛り上がります。白山愛児園も毎年恒例の「かき氷」と「ヨーヨー釣り」で参加。子どもたちと大人が準備から片付けまで一丸となって、笑顔いっぱいでお店を盛り上げました。最後は夜空に広がる打ち上げ花火をみんなで眺め、忘れられない夏の思い出となりました。



色々な体験

ボランティアさんと過ごす、素敵な時間

農業体験

by NPO connect



野菜を収穫したり、それを調理して食べたり、虫を探したり、自然のもので工作をしたり、火を起こしてみたり、何もしないでただボーっとしたり。たっぷり自然を堪能できる、貴重な1日でした。

英語で Fun Fun

by NPO connect



英語を使ったり使わなかったり異文化と出会いながらクイズやゲーム、食事を楽しみました。
(今年はメキシコ、イタリア、中国、オーストラリア等)



カードゲーム大会

by トレカで子どもを笑顔にする会

カードのご寄付と併せてポケモンカード大会を行っていただきました。小さい子どもも参加できる簡単なゲームから本格的なバトルまで皆で楽しむことができました。



クリスマス会

by Playground of Hope

いつも楽しいイベントを企画して下さるPoHさん。今年は本場のクリスマスツリーの飾りつけやジンジャークッキーのデコレーションを体験！大盛り上がりの1日でした。



ネイルアート体験

by 佐藤亜紀さん、高橋琴音さん

プロのネイリストさんと一緒にネイルのデザインを考えたり実際にネイルアートをしてみたい...皆自分の出来栄えに大満足の様子でした。



DANCE

ダンスレッスン

by HISAYO 先生

HSY ダンススタジオの講師に楽しくダンスを教えていただき、流行の音楽で元気いっぱいノリノリで踊り尽くしました！



アロマセラピー体験

by 久保田 泉さん

プロのアロマセラピストさんと一緒にオリジナルのアロマをつくりました。ゆずやオレンジラベンダー、ハッカの香りを楽しみました。



はばたくわかば

～卒業生の言葉～

2024年度卒園 渡辺 徹

私は現在、日本大学理工学部の海洋建築工学科で、海と建築を組み合わせた環境デザインを学んでいます。大学3年生になり、学業の傍ら大成建設でのアルバイトにも励むなど、充実した毎日を送っています。

児童養護施設で暮らしていたのは、中学3年生の春から大学2年生の夏にかけてのことでした。長く施設にいたのは、大学進学のための費用を貯めるという明確な目的があったからです。施設に入った当初は、それまで実家で禁止されていたゲームやインターネットを自由に使える環境に夢中になりました。夜遅くまで動画を見ては翌日眠気に襲われ、職員さんに怒られることもよくありました。

高校生になると自分のお小遣いでゲーム機を買い、部屋にもある時期もありましたが、高校2年生の頃に少しずつ心境の変化が訪れました。外の世界へ興味湧き、施設にあった自転車を利用してあちこちへ出かけるようになったのです。江ノ島で日の出を見たり、お台場や恵比寿から夜景を眺めたりと、本当にいろいろな場所へ足を運びました。時には門限を過ぎてしまったり、途中で自転車パンクして職員さんに迎えに来てもらったりと、たくさん迷惑をかけました。それでも、あのときの小さな冒険の積み重ねが、確実に自分の世界を広げてくれたと感じています。

高校3年生になり本格的に進学を考え始めたとき、施設の職員さんが私のために給付型の奨学金をたくさん調べてくれました。大学で学びたいという強い思いがあっても、経済的な壁で諦めてしまつ中高生は少なくありません。私自身、職員さんの手厚いサポートがあったからこそ、学費や生活費を支援してもらえる複数の奨学金を受けることができ、今こうしてお金の不安なく勉強に打ち込めています。

大学では毎学期の建築デザイン課題に全力で取り組んでいます。夏休みに研究室に泊まり込んで仕上げた水族館の設計では、外部コンペで全国上位の結果を残すことができ、これまでに合計で11個の賞をいただくことができました。学業以外にも、筋トレで体作りに励んだり、友人とスノーボードへ行ったりと、大学生活ならではの経験も楽しんでいます。

私が建築の道を志した原点には、東日本大震災の経験があり

ます。震災によって弟が命を落とすという出来事は、私の人生においてあまりに大きな悲しみでした。大切な人を失った経験から、地震に負けない強い建物を自分の手でつくりたいという強い決意が生まれました。この思いが、建築を学び続ける何よりの原動力になっています。

振り返れば、施設での生活やそこでの出会いが、今の私を作っています。どんな環境に置かれていても、自分の中にやりたいことさえあれば、必ず支えてくれる人や制度が見つかります。これからも、これまで支えてくださった方々への恩を忘れず、人を守る強い建築をつくるという目標に向かって、ひたむきに努力を重ねていくつもりです。

活動の軌跡とデザインたち

設計展 Flap 2025



建築新人戦 2025



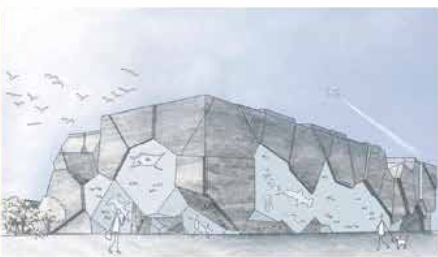
建築学緑祭 2025



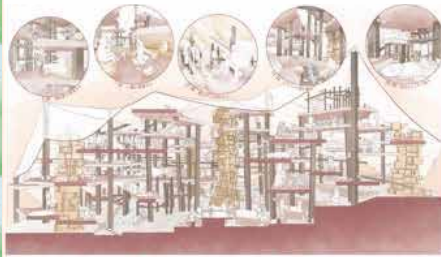
長谷工住まいのデザインコンペ



01 交錯する水景～能動的体験を誘発する水族館の提案～全国1位



02 にわとりよりどころ 全国2位



03 WATER BASE YOKOHAMA



04 境界の結節 ～線と点で結ぶ海の駅の提案～ 教室保存



05 余白の森 ～一期一会を紡ぐスケルトンインフィル 分棟型ホテルの提案～ 教室保存



はくさん児童家庭支援センター

わたしが佐野です



こんにちは！はくさん児童家庭支援センターです。
児童家庭支援センターとは、児童福祉法に基づいた
0歳から18歳までの子どもとその家族のための相談機関です。
『相談機関』と言われると、なんだかハードルが高い・・・
こんな相談していいのかな・・・と思うこともあるかもしれません。
子育ての悩みは尽きないもので、子どもの成長と共に解決することもあれば
成長と共にまた新しい悩みも生まれます。
そんな時に、家族で考えることに行き詰まったり、子どもとの関係が
ぎくしゃくしたりということがあれば、「誰かに話す」「相談する」ということが
有効な場合があります。『相談』とは専門家がアドバイスをして、
問題を解決することだとは思っていません。
ご家族、ご本人それぞれのお話を聞いて、
これまでご家族が積み重ねてきたもの、今の気持ち、今後の希望等を共有し
それらを解決したり叶えたりするためどのようなことが出来るか一緒に考え、
支えるチームになることが『相談』だと思っています。
ぜひお話をお聞かせください！お待ちしております。（センター長 / 相談員：佐野）



わたしたちが
児童家庭支援センターの
相談員です

お問い合わせ先 ☎ 044-712-4073

お気軽にご相談ください

《相談事業》

対 象 : 18才までのお子さまとご家族
ス タ ッ フ : 社会福祉士・心理士 等
利 用 料 金 : ご相談は無料です
受 付 日 時 : 平日 (月～金) 9:00～18:00
(祝日と年末年始はお休み)

○来所相談 ※事前に電話でご予約ください

○電話相談

○訪問相談

ご自宅、学校や保育所等の所属機関
お近くの地域子育て支援センター、こども文化センター等

まずはお電話にてお問い合わせください

《子育て短期利用事業》

ショートステイ（宿泊預かり）
デイステイ（日中預かり）

～保護者の方が育児疲れ・病気・事故・入院等により
子育てが一時的に困難になった場合に
一定期間お子さまをお預かりします～

対 象：川崎市在住の2才～小学6年生まで
利用料金：有料 ※詳細はお問い合わせください
利用方法：事前面談・申し込みが必要です

※保護者・お子さまが感染症の場合等、ご利用いただけない場合
があります



玩具のあるスペースで
親子でゆっくり過ごしませんか？



《子育てサポート事業》

～就学前のお子さまと保護者の方のフリースペース～
『子育てスペース・ママン』

日 時：第2・第4水曜日 10:00～12:00
利用料金：無料
利用方法：予約制
※詳細は下記 LINE、Instagram でお知らせしています



はくさん児童家庭支援センター



HAKUSAN_JIKASEN

《親才や講座》

～発達が気になるお子さまの保護者や支援者のための講座～
子どもへの理解、日頃の育児のヒントに繋がるような
専門的な講師の方々による講座です。



地域交流スペース

区内・当施設近隣で、主としてお子さまたちの育成に携わっている団体等、非営利の活動を行う個人・団体に当施設内のスペースをお貸しします。詳しくは下記連絡先までお気軽にご連絡ください。



所在地：白山愛児園内（白山1-1-5）
 利用時間帯：10:00～17:00（応相談）
 休み：年末年始
 お問い合わせ：044-712-4071
 地域コーディネーター 隈元まで
 利用料金：無料

面積：104.9㎡
 諸設備：冷暖房完備 / キッチン有り (IH) / トイレ有り
 貸出可能：スクリーン / プロジェクター / マイク
 スピーカー / 机 / 椅子 他
 用途：ミーティング / ワークショップ / 勉強会
 サークル活動・イベント
 ※内容によってはお断りする場合があります。



▽地域交流スペースにて定期利用中の団体▽

白山こども図書館 ほんの森

～赤ちゃんからシニアまで
本を読んだり遊んだりのんびり楽しめる
にぎやか図書館です～

○毎週火曜日
10:30～12:00
10:30～おはなし会・わらべうた
本の選び方相談など
○第4土曜日
13:00～15:00

※詳細はお問い合わせください
 メール：yuri-niji@msn.com
 ホームページ：http://honomori.starfree.jp

にこりん

～ハンディをもつことと
そのママのためのサークルです～

月に1回、一緒に遊んだり、おしゃべり
したり情報交換をしたりしています

先輩ママが保育ボランティアに入ることも
あり、くつろげるひとときです

活動場所や時間は変更することがあるので、
事前にお問い合わせください

※詳細はお問い合わせください
 メール：nikorin@ju.ciao.jp
 ホームページ：http://nikorin2003.jimdo.com/



ミーティングでのご利用 (FC 王禅寺さま)



演奏会でのご利用 (ホシボシさん)

編集後記

わかば第9号をここまでお読みいただきありがとうございました。

1年を振り返りながら、たくさんの方に支えられていることを改めて実感しております。

施設は子どもたちが社会へ羽ばたき出すための「止まり木」です。そしてその木を支える土壌は、地域の皆さまの理解というあたたかさで作られています。「わかば」が施設と皆さまをつなぐ小さな架け橋となりますように。

今後とも子どもたちの成長を一緒に見守っていただけたら嬉しく思います。(編集者：隈元)

